シネマズライフ

2020年3月21日発行 第179号　http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹(たかぎ) 諒音(りおん)

【最近のこれはお見事！】

『太陽は動かない』　宇宙の神秘はとうとう映画の題名にまでに！

【最近のこれはまずいぞ！】

『ドロステのはてで僕ら』で、《ドロステ》って何？

『サマータイムマシン・ブルース』のヨーロッパ企画の新作。前作と同じ【時間】のお話です。

映画の風景　日本の風景

※ 長野県・川中島 ※

← 武田信玄(左)と上杉謙信(左)の像。

『キングダム』という映画があった。こんな映画だ。

中国・春秋戦国時代の秦の国。戦争孤児の信は親友の漂(ひょう)と共に出世を狙い日夜武芸の修行に励んでいた。ある日、秦の大臣・昌文君が、二人を見かけ漂だけを王宮も連れて行くと言う。最初躊躇する漂でしたが、信はこのチャンスを逃すなと励まし王宮に送り出す。

しばらく経った頃、信の家に闇にまぎれて傷だらけになった漂が飛び込んでくる。

漂は、王宮での王弟・成蟜(せいきょう)の反乱を告げ、信への伝言と地図を渡し「地図に書いてある村の小屋に行け」という言葉を残し息絶える。その最後の言葉を心に留め信は村を飛び出す。

やっと村に着くと小屋にはなんと漂にそっくりな少年がいた。理由が分からないが、刺客・朱凶に襲われ、再び少年と共に追手から逃げ出す。小屋にいた少年は秦王・嬴政(えいせい)で、漂は彼の替え玉だったのだ。案内は信が途中で出会った河了貂(かりょうてん)だ。

なんとか、昌文君軍と合流した信と嬴政達は、反乱軍と戦う為【山の民】の王・楊端和(ようたんわ)に協力を求める事を思いつく…。

川中島は戦国時代、武田信玄と上杉謙信が北信濃を巡り戦った場所。4度戦い激戦だったが、結局決着がつかなかったそうだ。

昨今、日本人は自らの命を賭け戦う事はない。私は右翼ではないが、最近の日本人がこの映画のように運命をかける戦いがない分どこか生き方が甘いと思ってしまうのだ。

『キングダム』2019年 日本　監督 脚本：佐藤信介　製作：黒岩勉 原泰久　原作：原泰久
主演：山崎賢人 吉沢亮 長澤まさみ 橋本環奈 本郷奏多 満島真之介 六平直政 高嶋政宏 宇梶剛士 加藤雅也 石橋蓮司 大沢たかお

舞台は中国だが原作は日本のコミック。主要出演者も全員日本人で迫力はすごいと思う。特に笑っているけど実は一番怖い王騎演じる大沢たかおの迫力は半端なかったです。

コラム

今、必要だと思う件

《新型コロナウィルス》の為に、世界中の経済が停滞している。

また、情報が錯綜(さくそう)していて、若いから簡単に《検査》はせず、【うがいと手洗いと体温測定】さえしっかりして多くの人が《抗体》を作るまで待つか、体調が悪い人は《検査》をして、徹底的に周辺の人達も《検査》するか分れていて今のところどちらかいいかわからない。

ワクチンもできず、《新型コロナウィルス》の事もはっきりしないところもあり手詰まり状態だ。

その為、出歩く事もできず買い物もままならない人も多い。

日本では抑止対策が緩い為、マスク・消毒液・テッシュペパーぐらいなものだが、海外では「外出禁止令」が出て、スーパーでの食料品も無くなる状態になっているそうだ。

↑ クロネコヤマトの宅急便の配送車

経済に大打撃を受けている昨今だが、景気のよい業界がある。【デリバリー】業界と【宅配】業界だ。出歩けない為、通信販売で買い物をする人が増え、外食ができない為出前を頼む人が多い為だ。

なるほど、そうなるよね。

しかし、非正規の方達とか《新型コロナウィルス》の被害に遭った人達もいて、世の中うまく行かない事が悩ましいが海外のように、暴動じみた事もないのが救いだと思う。

でもこれからは分からない。

日本は【医療崩壊】が怖いので、検査はあまりしない方針なようだが、これからは検査できるのなら検査をして軽い症状なら家で養生してとお願いするのが一番かと思うのですが…。

↑ 宅配ピザ

ウィキペディアを参考にさせていただきました。m(_ _)m

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air！

ＣＳ・ＢＳ放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認お願いします。m(_ _)m

『ギャラクシー・クエスト』

ザ・シネマ
1999年 アメリカ
監督:ディーン・パリソット
脚本 原案:デビッド・ハワード
脚本:ロバート・ゴードン
出演:ティム・アレン シガーニー・ウィーバー アラン・リックマン トニー・シャループ サム・ロックウェル ダリル・ミッチェル

3月22日（日）8:00　4月18日（土）10:00
4月23日（木）19:00　4月30日（木）6:00

２０年前に大ヒットしたテレビシリーズ『ギャラクシー・クエスト』。ＳＦドラマの金字塔として根強いファンが多いが、演じる役者達にしてはこのドラマ以外パッせず、ほとんど仕事といえばこのドラマのファンイベントだけだ。おかげで、主演のタガート艦長役のジェイソン他５人のメンバーは食傷気味だ。そんなある日、ファンイベントで奇妙なコスプレファンに声をかけられる。話は「私達はサーミアン、助けてください」と言うもの。新しい仕事の依頼かと思い彼らをあしらうが、翌日・自宅で目が覚めると二日酔い。そこへ、またコスプレファンが現れ「私達はファトクリのサリスに攻撃されています…」と説明。その上、ドラマに登場する宇宙船プロテクター号まで完コピしていた…。
伝説のＳＦドラマ『スタートレック』のパロディコメディ。超善人の宇宙人が『ギャラクシー・クエスト』の世界観を完コピして、ほんとはフツーの役者達に助けを求めるのですが…というお話。

『メリー・ポピンズ』

スターチャンネル
1964年 アメリカ
監督:ロバート・スティーヴンソン　原作:P・L・トラヴァース
出演:ジュリー・アンドリュース ディック・ヴァン・ダイク デビッド・トムリンソン

3月22日（日）18:15（吹）【チャンネル3】
3月26日（木）13:15（吹）【チャンネル3】
3月30日（月）18:00【チャンネル2】
4月5日（日）10:00（吹）【チャンネル3】
4月14日（火）10:00【チャンネル1】
4月21日（火）16:30（吹）【チャンネル3】
4月30日（木）17:45【チャンネル1】

イギリス・ロンドン。銀行家のバンクス氏の家では子供達・ジェーンとマイケルのナニー(子供の面倒をみるお手伝いさん)が長続きせず困っていた。原因は気難しいバンクス氏と女性解放運動に忙しいバンクス夫人といたずら好きの子供達だ。ある日、小さな傘をさし風に乗ってバンクス家に新しいナニー、メリー・ポピンズがやって来た。メリーは不思議議な魔法を使いすぐに子供達となかよくなる。ある日、バンクス氏は教育の為と銀行に預金する事を強要し子供達は反発。銀行で騒動を起こしてしまう…。
大きな事件が起こる訳でもなく、映画のテーマは楽しい歌とダンス。昔のミュージカル映画の俳優は唄わない人が多いが主演のジュリー・アンドリュースとディック・ヴァン・ダイクは素晴らしい美声を聞かせてくれます。

『隠し砦の三悪人』

1958年 日本
監督 脚本 製作：黒澤明　製作：藤本真澄
脚本：菊島隆三 小国英雄 橋本忍
出演：三船敏郎 千秋実 藤原釜足 上原美佐 藤田進 志村喬 三好栄子 藤木悠 土屋嘉男 高堂国典 加藤武 上田吉二郎 沢村いき雄

戦国時代。
太平と又七は、武士になる事を夢見て、秋月家と山名家の戦いで秋月家に参戦するも、秋月家は破れ二人は山名家の捕虜となってしまう。
翌日、暴動にまぎれ脱出。逃げる途中、山中の池で金が隠された薪を見つける。
金を見つけた二人は喜び薪を持ち出そうとするが、そんな二人に矢を放ち逃げ去る人間がいた。太平と又七は、その男を追いかけるが、それを阻止する男に捕まってしまう。
男の名は真壁六郎太。秋月家の侍大将で、【隠し砦】に秋月家の姫君・雪姫とわずかな重臣達と隠れ住んでいたのだ。
隣国には雪姫の許嫁がおり、六郎太は軍資金と共に雪姫を隣国に送り届けたいのだが、山名家の追及が厳しく苦慮していた。が、六郎太は太平と又七と共に農民と偽り軍資金と雪姫を連れ脱出する方法を思いつく…。

黒澤明の痛快アクション映画の名作。黒澤を含め4人の脚本家がアイデアを出しながら共同で作った脚本がすごぶる面白い。
日本人のいいところは、知恵を使い苦労を惜しまないところ。75年前、第二次世界大戦が終わって、ボロボロになった日本が、復興をとげたのも日本人のこの気質によるところも大きい。
危機がきても知恵を使って生きる…。今も、【ウィルス】という危機が世界中を襲っているが、今度は世界の人達が知恵を使い乗り越えられると思うのだが…。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

【編集後記】

☆《新型コロナウィルス》はまだ、収束しそうにもない。かろうじて日本は他国ほど人的被害は少ないようだが、はたしてこのままの状態が続くのだろうか？
【抗体】できるのを待つのがいいというのもちょっと無理筋だと思うし、よく比較されるインフルエンザと違うところもあるし油断は禁物だと思う。
で・どうすればいいかと言われると国にワクチン作ってもらうしかなく、個人的には「うがい・手洗い」の励行しかなく、そいじゃ普通の日と変わらない日々を暮らすだけなのかと。

みなさま気をつけてください。

シネマズライフ179号
※ 発行人：貴樹諒音 ※
発行日：2020年３月21日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
※ 告知ブログ ※
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

☆次回発行は4月3日です。4月発行予定は第１・３金曜日です m(_ _)m

奥付

シネマズライフーcinemaz-lifeー １７９号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

著者：貴樹 諒音

メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《ザ・シネマ》
『ギャラクシー・クエスト』
《スターチャンネル》
『メリー・ポピンズ』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

お世話になっているインターネットＴＶ

netchannel KYO

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）

運営会社：デザインエッグ株式会社